



子宮頸がん受診へ 大学生向け講習会

県がスタート

子宮頸がん検診の受診率向

上のため、県は11月28日、大学生や短大生向けの講習会をスタートした。子宮頸がんの特徴について解説するほか、検診車を活用した出張検診も行う。

初日は山梨学院大で開き、同大と山梨学院短大の学生約20人が参加。山梨大医学部付属病院の産婦人科医が講師を務め、20〜30歳の罹患者が多いことや自覚症状がないまま悪化する特性を紹介したII写真。

県健康増進課によると、県内の子宮頸がんの受診率は47・9%で全国平均(42・4%)を上回っているが、県がん対策推進計画で掲げる50%の目標には届いていない。20〜30代の受診率が低いという。

講習会は12月5日に山梨英和大、7日に山梨大医学部キャンパスで開催。8日と15日、

来年1月12日の3日間は検診車を使った出張検診を各大学で行う。

問い合わせは同課、電話0

55(2223)1497。